

第32回
萩原朔太郎賞
受賞者

最果夕ヒ 展

愛を囁くのは世界の方で、
私たちはそれを二人で聞いている。
ここで、二人で真珠になろう。

Tahi Saihate
Exhibition

前橋文学館 2階
企画展示室

2025年

6月7日(土) — 9月21日(日)

開館時間 → 9時 — 17時 (入館は30分前まで)

休館日 → 水曜日

観覧料 700円 (高校生以下無料)

※障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名無料 ※朔太郎展示室もご覧いただけます

無料観覧日 → 6月7日(土) 展覧会初日、7月11日(金)～13日(日) 前橋七夕まつり、9月6日(土) 開館記念日



萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち

前橋文学館

協力：東和銀行 新潮社 前橋中央通り商店街

最果タヒ

展

Tahi Saihate Exhibition

好きだと思ふ瞬間、流れ星になる。
 加速して燃える、このまま粉々になり、
 夜に溶けてもいいと思った。
 誰の願いも叶えない一瞬の流れ星になろう。
 鮮烈な、それでもきみだけは、
 その一瞬で願いごとを最後まで言えてほしかった。
 きみの手のひらは星を捕まえることができる。
 ぼくがそれを証明する。
 たとえ燃え尽きても。

流れ星の詩

(詩集『恋と誤解された夕焼け』所収)

素顔も経歴も出身地も明かさずスマホで詩を書く最果タヒ。詩人という枠を超え、小説やエッセイ、翻訳など多彩な才能を發揮しています。映画から広告、音楽、アートまで縦横無尽にジャンルを横断し、あらゆる場所で詩の可能性を開花させてきました。近年は美術館やホテル、プラネタリウムでの発表など、その活躍は本やインターネット上に留まりません。

本展では、受賞作『恋と誤解された夕焼け』や書き下ろしの新作を含む詩のインスタレーションで空間を埋め尽くします。展示構成やデザインを手掛けるのは、最果タヒの書籍の装幀をはじめ様々な企画を協働してきた佐々木俊。

「詩は読み手の中で完成し、その人だけの作品になるのだと思う」と語る最果タヒは、展覧会では特定のメッセージを届けたいというよりも訪れた人が各々の経験や感情を通して、自由に詩を受け取って欲しいと願っています。

この夏、未踏の表現を追い求める詩人の言葉に身をゆだね、未知なる自分と出会ってください。

Event

①オープニングイベント

高校生による朗読会—好きだと思ふ瞬間、流れ星になる。

最果タヒの詩を高校生が朗読、群読します

日時：6月7日(土) 14時～ 予約不要

出演：県立前橋高校演劇部、県立前橋東高校放送部、市立前橋高校演劇部、共愛学園高校放送委員会

会場：1階ロビー

②担当学芸員によるギャラリーガイド

日時：7月12日(土) 15時～ 予約不要

会場：2階企画展示室

③朗読会

愛を囁くのは世界の方で、私たちはそれを2人で聞いている。

俳優の青柳いづみが最果タヒの詩の世界観を声で表現します

日時：8月24日(日) 14時～ 先着80人 7月5日(土) 9時より申込み開始

出演：青柳いづみ (俳優)

Izumi Aoyagi
劇団「マームとジプシー」などの舞台を中心に幅広く活躍中。
最果タヒの「詩のレコード」、「詩のプラネタリウム」で朗読を担当しています。

会場：3階ホール ※当日有効の観覧券が必要

④朗読会

「恋と誤解された夕焼け」全43篇イッキ読み!!

受賞作「恋と誤解された夕焼け」に記載された全43篇を萩原朔美特別館長や一般の皆さんがイッキに読みます

日時：9月21日(日) 14時～ 先着80人 8月9日(土) 9時より申込み開始

出演：萩原朔美 (前橋文学館特別館長)、一般参加者

会場：3階ホール ※当日有効の観覧券が必要

2025年6月7日(土)～9月21日(日)

恋と誤解された夕焼け



2024年5月 新潮社

受賞作「恋と誤解された夕焼け」文芸誌「新潮」で連載された詩を中心に、SNS発表作品を加えた43篇が収録されている。装丁は佐々木俊。

サテライト展示

7月7日(月)～7月25日(金) 会場：東和銀行本店



まちなか展示

6月7日(土)～9月21日(日) 会場：前橋中央通り商店街、広瀬川河畔

同時開催

・前橋文学館「『猫町』を包む(仮)」6月28日(土)～9月7日(日)

・アーツ前橋「新収蔵作品展(仮)」「コレクション+女性作家特集(仮)」7月19日(土)～8月26日(火)

会場=アーツ前橋 TEL.027-230-1144

Access

◆電車 JR前橋駅北口から徒歩約15分/タクシーで約10分

上毛電鉄中央前橋駅から徒歩約5分

◆バス JR前橋駅北口バスのりば

・3番のりばから「中央前橋駅」行き(シャトルバス)「中央前橋駅」下車徒歩約5分

・6番のりばから「萩窪公園・嶺公園」行き「城東町二丁目バス停」下車徒歩約5分

◆自動車 関越自動車道 前橋ICから車で約15分

※広瀬川サンワパーキング(市営P城東)のご利用に際しては、駐車券に割引処理をいたします。

●萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち

前橋文学館 〒371-0022 群馬県前橋市千代田町三丁目12-10

TEL.027-235-8011 FAX.027-235-8512

https://www.maebashibungakukan.jp



萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち

前橋文学館

Profile

最果タヒ Tahi Saihate

詩人。2004年よりインターネット上で詩作を始め、2006年に第44回現代詩手帖賞受賞。2008年、第1詩集「グッドモーニング」で中原中也賞受賞。2015年、第3詩集「死んでしまう系のぼくらに」で第33回現代詩花柳賞受賞。2017年、第4詩集「夜空はいつでも最高密度の青空だ」が石井裕也監督により映画化。2024年、第12詩集「恋と誤解された夕焼け」で第32回萩原朔太郎賞受賞。エッセイ集「きみの言い訳は最高の芸術」、小説「十代に共感する奴はみんな嘘つき」など著書多数。2018年、太田市美術館図書館での企画展に参加。2019年に横浜美術館で初の個展を開催。著名アーティストへの作詞提供のほか、ホテルとのコラボ企画「詩のホテル」や詩とプラネタリウムを融合した作品発表など活動の場は幅広い。